

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス事業所 ほくと					公表日	令和 7 年 3 月 15 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・活動の際には、机等を移動する等してスペースを確保し、広い空間で活動できるようにしています。	・中高生も利用している為、学習室が狭く感じる事も有る。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・行事の際には、学園からボランティアを募るなどして人材の確保をしています。	・通常は適切だが、職員の休みが取りにくい。 ・通常は適切だが、職員が休みを取った際には適切とは言えない。 ・一日の配置数としては足りているが、職員の休暇取得や児童の個別対応のため、もう少し職員が居て欲しい。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・生活空間は子どもさん達にわかりやすいように配置等を工夫していますが、今後も職員間で検討しながら環境上の配慮に努めて行きます。	・建物が賃貸ということもあり、設備等は不十分な部分もある。 ・もう少し解りやすく改善できるのではないかと思う。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・生活空間では心地よく過ごせる様に日々心掛けていますが、物の配置や収納等環境上の配慮に努めて行きます。	・刺激が多い室内でトラブル無く過ごせる様、物の配置や仕切りを使う等、改善できる点があるように思う。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・部屋の常設は難しいですが、必要に応じてパーテーション等を使用して対応しています。	・学習室の他に個別に使用できる部屋が無く、個別対応をしたり落ち着く為の場所があると良い。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・毎朝行っているミーティングの中で職員間での情報共有を図り、会議の中で検討する等してPDCAサイクルを心掛けています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者向け評価表を回覧し職員間で共有しました。また、会議の中で改善に向けて具体的な意見を出し合い検討のうえ改善に努めています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎朝行っているミーティングや日々の業務中、会議等で意見等の共有を図り、必要に応じて適宜に改善しています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・第三者による外部評価は実施していませんが、今後は業務改善に向けて実施する方向です。	・第三者による外部評価がされているかわからない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・定期的に実施する事は業務の関係上難しい時がありますが、職員の資質の向上を優先し、研修の機会をより設けて行きます。	・内部研修を開催する時間も有れば良い。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・支援プログラムは作成し、学園のホームページにて公表しています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・モニタリング時に、保護者様からニーズや課題をアセスメントシートに記入していただき計画書を作成しています。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・こどもの支援に関わる職員全員で共通理解をした上での支援をしています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・計画に沿った支援を念頭におき支援をしています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	・こども一人一人に対して、日々個別記録を記載して確認しています。	・標準化されたツールは用いていないが、日々の行動観察等で確認している。 ・インフォーマルなアセスメントを使用して記録し確認している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・ねらい及び支援内容を踏まえて、具体的に支援内容を設定しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・週ごとに室内・戸外のプログラムを組み、計画書を作成しています。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・季節に合わせて行事等を設定する等して、楽しみながら成功体験が積めるように支援をしています。				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・こどもの状況を踏まえた上、必要に応じて適宜に対応しています。				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・日々、職員間での打合せを必ず行い、チームでの連携した支援を心掛けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・日々、支援の振り返りを行い情報を共有し次回の支援に役立てています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・こども一人一人に対して、日々個別記録を記載し検証、改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	・基本活動を複数組み合わせ合わせた支援を心掛けています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・自己選択が出来るように、個々に合わせた内容で選択肢を設ける等の対応をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・担当者もしくは管理者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・関係機関との定期的な連携を心掛けています。	・相談支援員の方々と定期的に連携を取っている。 ・モニタリング時や必要に応じて連携を図っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・学校からの送迎時には、担任もしくは副担任から学校での様子を聴き取り、その日の支援に役立てています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	・相談支援事業所を通して行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・相談支援事業所を通して行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	・地域の相談支援事業所とは連携を図っているので、研修等の情報提供が有った際には出席しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・環境要因を考慮しながら、検討していきたいと考えます。	・児童館や地域の活動に参加する事が出来たら、当事業所の活動の幅も広がると思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・一人もしくは二人の職員が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・自宅への送迎時や連絡帳を通して、日々努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・家族等が参加できる研修会への情報提供は行っています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・新年度や入所時の際に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・入所時やモニタリングの際に、書面や面談を通して意向の確認をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・保護者の要望に合わせた対応にて同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・相談等には適宜、面談や電話等で対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	・保護者会等は開催していませんが、当事業所主催の行事の中で交流する機会を設けています。	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・苦情等につきましては、職員間で情報の共有を図り管理者が迅速に対応しています。		

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・定期的に行事予定等を書面にて通信等で発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・事業所内での業務に携わるなど十分に留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・障がいの特性を理解し、無理の無い支援を心掛けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・事業所行事に地域住民を招くのは難しいですが、町内会行事には主催者側と検討し、開かれた事業運営に近づきたいと考えています。	・町内会行事の参加を希望したが、利用児童が町内会に居住していない為、参加することが出来なかった。 ・地域のイベントに可能な範囲で参加できたら良い。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・事前の周知や発生を想定した訓練は実施しています。様々なマニュアルの策定は、今後進めていきます。	・マニュアルを策定していないものもあるが、事前の周知や想定した訓練は実施している。 ・職員間で定期的に確認する機会があると良い。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・非常災害の発生に備え年に2～3回程、地震、津波、火災、不審者侵入等の避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・アセスメントシートや保護者からの情報等で、適宜対応しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・アセスメントシートや保護者からの情報等で、適宜対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	・安全管理に必要な持ち物や職員の役割等の訓練や措置は講じています。	・安全管理に必要な訓練、措置は講じているが、計画作成はしていない。 ・安全計画は作成されていない。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・取り組み内容については、終了後にご家族へ周知しています。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハットを確認した際には、業務後の振り返りの中で、再発防止に向けた対策や注意事項を確認、共有します。		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・職員会議の中に盛り込み、研修機会を確保しています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・入所時や個別支援計画書説明の際に、書面や面談を通して了解を得ています。		